

# 経済日誌

1月

TPPは環太平洋連携協定、自販連は日本自動車販売協会連合会、全軽自協は全国軽自動車協会連合会、Pはポイント、LCCは格安航空会社

国	内	県	内
1日	<b>日米貿易協定、発効</b> 日米貿易協定が発効。日本は米国産牛肉などの関税を一気に TPP 水準に引き下げ、8,000 億円規模の農産物に対して市場を開放。	6日	<b>木材新春初市、初値の平均前年をやや下回る</b> 県森林組合連合会の木材新春初市が日向市で開催。スギとヒノキの初値の平均が、1立法メートル当たり1万300円。
6日	<b>19年新車販売、3年ぶり前年比減少</b> 自販連と全軽自協は、2019年の国内新車販売台数(軽自動車を含む)が、前年比1.5%減の519万5,216台と発表。	9日	<b>19年県内企業倒産、件数・負債総額共に歴代最低</b> 東京商工リサーチ宮崎支店は、2019年の本県の企業倒産件数が26件で、負債総額は14億6,300万円と発表。
7日	<b>19年末マネタリーベース、13年連続前年末比増加</b> 日銀は、市中に供給している2019年末のお金の総額が、前年末比2.8%増の518兆2,425億円と発表。	14日	<b>完熟きんかん「たまたま」の初競り、過去最高値</b> 本県ブランドの完熟きんかん「たまたま」の初競りで、宮崎市中央卸売市場では、前年比5,000円高の1箱(1キロ)5万5,000円で落札。
10日	<b>19年11月景気、4カ月連続基調判断「悪化」</b> 内閣府は、2019年11月の景気動向指数(速報値)で、景気の現状を示す一致指数が前月比0.2P下落の95.1と発表。	14日	<b>高千穂峡ボート、大幅値上げへ</b> 高千穂町観光協会は、同協会が運営する高千穂峡貸しボート料金を、現行の30分2,000円から3月1日より最大6,000円に値上げすると発表。
10日	<b>19年11月消費支出、2カ月連続前年同月比マイナス</b> 総務省は、2019年11月の2人以上の家計調査で、1世帯当たりの消費支出が実質で前年同月比2.0%減の278,765円と発表。	15日	<b>18年本県農業産出額、5年連続で全国5位</b> 農林水産省は、2018年の本県の農業産出額が、前年比95億円(2.7%)減少の3,429億円と発表。
14日	<b>19年11月国際収支、65カ月連続経常黒字</b> 財務省は、2019年11月の国際収支速報で、経常収支の黒字額が前年同月比75.0%増の1兆4,368億円と発表。	17日	<b>本県の地域おこし協力隊、62.7%が赴任地などに定住</b> 総務省は、2010~18年度に県内で活動した「地域おこし協力隊」75人のうち、47人が任期終了後も赴任地などに定住していると発表。
14日	<b>19年企業倒産件数、11年ぶりに前年比増加</b> 東京商工リサーチは、2019年の全国企業倒産件数(負債額1千万円以上)が、前年比1.8%増の8,383件と発表。	18日	<b>九州活性化へ向け、九州内地銀が連携</b> 環境省九州地方環境事務所と宮崎銀行など九州内の地方銀行4行は、「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」を締結。
14日	<b>19年12月街角景気、2カ月連続前月比改善</b> 内閣府は、2019年12月の景気ウォッチャー調査で、街角景気の現状判断指数(季節調整値)が前月比0.4P上昇の39.8と発表。	20日	<b>「宮崎第一信金」、営業開始</b> 宮崎都城信用金庫(宮崎市)と南郷信用金庫(日南市)は合併し、「宮崎第一信用金庫」として営業を開始。
15日	<b>1月地域経済報告、3地域で景気判断引き下げ</b> 日銀は、1月の地域経済報告で、全国9地域のうち北陸、東海、中国の景気判断を前回(2019年10月時点)引き下げ発表。	20日	<b>タクシー配車アプリ、県内で利用開始</b> DiDiモビリティジャパン(株)(東京都)は、県内のタクシー会社5社と提携し、タクシー配車アプリ「DiDi(ディディ)」のサービスを開始。
17日	<b>19年訪日外国人旅行者の消費額、過去最高を更新</b> 観光庁は、2019年に日本を訪れた外国人旅行者の消費額が、前年比6.5%増の4兆8,113億円(速報値)と発表。	22日	<b>宮崎一台北線、週3往復へ増便</b> 宮崎一台北(台湾)線を運航するチャイナエアライン(同)は、3月19日から週1便増便し、約1年ぶりに3往復にすると発表。
21日	<b>日銀、現行の金融緩和策を維持</b> 日銀は、金融政策決定会合で、短期金利をマイナス0.1%、長期金利を0%程度に誘導する現行の金融緩和策の維持を決定。	23日	<b>宮崎東環状道、全線開通へ</b> 県は、国道219号の広瀬バイパス(3.2キロ)が3月21日に供用を開始すると発表。これに伴い、「宮崎東環状道路」が全線開通する。
23日	<b>19年貿易収支、2年連続赤字</b> 財務省は、2019年の貿易統計(速報、通関ベース)で、貿易収支が1兆6,438億円の赤字と発表。	24日	<b>串間と都城、重点「道の駅」に選出</b> 国土交通省は、地域活性化の優れた取り組みを通常より手厚く財政支援する重点「道の駅」に、本県では道の駅「くしま(仮称)」と「都城」を選出。
23日	<b>19年訪日クルーズ客、2年連続前年比減少</b> 国土交通省は、2019年にクルーズ船で日本を訪れた外国人客は前年比12.2%減の215万3,000人(速報値)と発表。	28日	<b>LCC宮崎一関空線、3月末から1往復増便</b> LCCのピーチ・アビエーション(大阪府)は、3月29日から宮崎一関西空港線を1日1往復から2往復へ増便すると発表。
30日	<b>1月景気判断、東海地域を7年ぶりに下方修正</b> 財務省は、1月の経済情勢報告で、全国11地域のうち東海の景気判断を「拡大の動きに一服感がみられる」へ引き下げ。	30日	<b>1月県内経済情勢、13期連続判断据え置き</b> 宮崎財務事務所は、本県の1月の経済情勢を発表。総括判断を「緩やかに持ち直している」と13期連続据え置き。